

技術者・研究者のための特許の 【LIVE配信】または【アーカイブ配信】

効率的な読み方と強い特許取得への生かし方

目的に応じて効率よくかつ適切に特許を読み方のコツやそれを発明に生かすコツを伝授！

- ◆日時：2023年07月14日（金）10:00～16:00
- ◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をさせていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき **46,200円（税込）**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で 55,000円（税込））**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：よろず知財戦略コンサルティング 代表 医学博士 萬 秀憲 氏

特許の読み方は特許を読む目的によって異なります。目的に応じて、効率よくかつ適切に特許を読めるようになることが重要です。この目的に応じて効率よくかつ適切に特許を読める能力を身につけるには、本来かなりの時間を要しますが、本講座では、短時間で習得できる読み方のコツを紹介し、また、強い特許明細書をつくるためには、発明の本質の把握、先行技術との対比が大切です。本講座では、強い特許明細書をつくる発明提案書作成のポイント、外部弁理士が書いた特許明細書を的確にチェック・評価し強い特許を取得することができるようになるためのノウハウについて解説します。

1. 特許明細書の効率的な読み方

- 1-1. 特許明細書の効率的な読み方の基本
 - 1-1-1. 発明とは
 - 1-1-2. 特許要件
 - 1-1-3. 公報の種類
 - 1-1-4. 特許出願に必要な書類5種類
 - 1-1-5. 「発明の本質」を考える重要性
- 1-2. 特許を読む
 - 1-2-1. 特にしっかりと読む必要がある部分
 - 1-2-2. 【特許請求の範囲】と【課題を解決するための手段】
 - 1-2-3. 【発明が解決しようとする課題】と【発明の効果】
 - 1-2-4. 【発明を実施するための形態】と【実施例】
 - 1-2-5. 【実施例】、【比較例】、【参考例】、【試験例】の違い
 - 1-2-6. 読み方を考える（速度を上げる、正しく読む）
- 1-3. 特許を読む目的と目的に応じた効率的な特許の読み方
 - 1-3-1. 発明のヒントを見つける
 - 1-3-2. 自社技術の特許化し得るかを検討する
 - 1-3-3. 自社ビジネスが他社特許権を侵害しないか検討する
 - 1-3-4. 邪魔な他社特許が無効化できないか検討する
 - 1-3-5. 他社特許、特許網の弱点を見つける
 - 1-3-6. 他社特許出願を参考にした対抗出願を検討する
 - 1-3-7. 他社特許ポートフォリオを作成する
 - 1-3-8. IPランドスケープに利用する

2. 強い特許明細書のつくり方

- 2-1. 強い特許明細書とは？
 - 2-1-1. 発明の本質の把握が大切
 - 2-1-2. 先行技術との対比が大切
 - 2-1-3. 取得したい権利範囲と取得できると考える権利範囲
- 2-2. 強い特許明細書をつくる発明提案書作成のポイント
 - 2-2-1. 発明の本質を把握し、取得したい権利範囲を想定していること
 - 2-2-2. 発明が従来知られていない技術で先行技術と構成の差があること
 - 2-2-3. 発明は「課題」「作用効果」「構成」がセット
 - 2-2-4. 先行技術と構成の差があれば「課題」「作用効果」違いの説明の仕方が鍵
 - 2-2-5. 発明の名称、技術分野の考え方
 - 2-2-6. 発明の背景技術、従来技術、先行技術文献の説明の仕方
 - 2-2-7. 発明の概要の説明の仕方
 - 2-2-8. 発明のポイント、発明が解決しようとする課題、課題を解決するための手段、発明の効果の説明の仕方
 - 2-2-9. 発明を実施するための形態、実施例の説明の仕方
 - 2-2-10. 図面の説明の仕方
 - 2-2-11. 産業上の利用可能性の説明の仕方
 - 2-2-12. 会社の事業戦略上、R&D戦略上の位置付けの説明の仕方
 - 2-2-13. 知財部、外部弁理士への説明の仕方
- 2-3. 強い特許を取得するための特許明細書等のチェックポイント
 - 2-3-1. 特許請求の範囲（クレーム）のチェック
 - 2-3-2. 明細書のチェック
 - 2-3-3. 知財部、外部弁理士とのコミュニケーションの取り方

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた (<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式（受講券、請求書、会場の地図）になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL (<https://zoom.us/test>) から「ミーティングテストに参加」を押しいただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談（他社に知られたくない）のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『特許の読み方』チェックしてください⇒ Live配信 アーカイブ配信 セミナー申込書

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>